武家政権の移り変わり

政治の中心は、貴族から武士へ、どのように移っていったか

武士が力をのばした理由

・朝廷や貴族の争いを、武士の力で解決するようになった
・地方の土地を守り、開発する中で武士団が成長した

摂関政治

10〜11世紀

藤原氏が摂政・関白として政治を行う

保元の乱・平治の乱（1156・1159年）

院政

1086年〜

位をゆずった上皇が政治を行う。武士を警備などに使う

源平の争乱（1180〜85年）

平氏の政治

1167年〜

平清盛が太政大臣に。日宋貿易、娘を天皇のきさきにする

鎌倉幕府

1185年〜

源頼朝が守護・地頭を置く
1192年 征夷大将軍に
武士による政権

時代の流れ →

年は教科書で一般的な表し方。人物は名前だけで、姿は描いていない。

鎌倉幕府の成立の年は、守護・地頭の設置（1185年）など、いくつかの見方がある。